

## 多摩信用金庫の環境への取組みについて

### 環境へ配慮した地域社会の実現をめざして

たましんが営業を展開する多摩エリアは、本店・本部がある立川市を中心に商業施設や公的機関が集まり都市化が進む一方、多摩を東西に流れる多摩川、高尾山・奥多摩の山々など、緑豊かな自然が地域の暮らしに欠かすことのできないものとなっています。その豊かな自然環境の保全と、環境問題に対する地域金融機関としての社会的責任の一環として、たましんでは 2007 年 9 月に「環境対策委員会」を設置し、環境負荷低減への積極的な取り組みを進めています。



#### 【地域社会との関わりの中での取り組み】



##### <環境ボランティア（里山保全）活動への参加>

役職員が環境保全の意義と大切さを楽しみながら体験する取り組みとして、地元の里山保全協議会の協力のもと、役職員向け「環境ボランティア（里山保全）活動」を八王子の宇津貫緑地とあきる野市横沢入にて実施しています。

2018 年（10 月末時点）は職員とご家族合わせて 47 名が参加し、腐葉土の切り返しや篠竹刈り、外来種セリバヒエンソウの抜取などの里山保全活動を行いました。



#### 【たましん自身の取り組み】



##### <店舗への省エネ設備の導入>

たましんでは環境に配慮した省エネ設備の導入を計画的に行っています。

直近では、橋本支店（2017 年 12 月）、町田支店（2018 年 3 月）のランドオープンに伴い、省エネ対応の空調機器や LED 照明を導入しました。また、橋本支店には、太陽光発電設備も導入しています。

##### <金庫内での事務用品リユース運動>

本部の余剰事務用品を取りまとめ、配付希望の営業店へ分配しています。

以前から実施している年次のリユース活動に加え、使用頻度の高い事務用品について、2016 年 5 月から月次のリユース活動を開始しました。

毎回多くの営業店より希望が集まっており、限られた資源を有効に使うための取り組みとなっています。



## 【環境に配慮した印刷物等の採用】

パンフレットやチラシ、ディスクロージャー誌などにおいて、ベジタブルインクやFSC 認証などを積極的に採用し、環境負荷低減に向けて取り組んでいます。また、一部の現金封筒については、銀行券裁断くず 30%を使った紙を使用し、紙幣の再利用に努めています。

## 【役職員に対しての環境意識の啓蒙活動】

たましんでは、環境負荷低減活動の推進および環境意識の啓蒙を行う「環境対策委員会」が「環境対策委員会 News」を四半期ごとに発行し、役職員へ環境に関する情報提供を行い、意識の醸成を図っています。また、社内報の環境対策コーナーや役職員が視聴するビデオニュースを用いた環境情報の発信などを通じて、役職員の環境意識の向上を図っています。

環境への取り組みはホームページにも掲載していますので、ご覧下さい。

[http://www.tamashin.jp/O4\\_tamashin/O1\\_kankyo/index.html](http://www.tamashin.jp/O4_tamashin/O1_kankyo/index.html)

